

# 高齢者を理解する 認知症サポーターキッズ教育



八王子市立緑が丘小学校  
校長 坪内 聡

# 概要

---

八王子市立緑が丘小学校は、八王子市の南西部に位置し、静かな住宅地の中にある、全校児童245名の学校です。学校の周りには緑が大変多く、豊かな自然に囲まれています。



平成28(2016)年から、4、5、6年生の総合的な学習の一環として「認知症サポーターキッズ養成講座」を開催し、認知症当事者などの協力を得ながら段階を踏んで、より理解を深めています。

# 経緯

地域の運動会の手伝いに来校された、高齢者あんしん相談センター館の職員と本校の職員が知り合い、仕事上の困りごとを互いに相談しました。



センター館の職員

小学生を対象とした「認知症サポーター講座」の開催をしたい。



本校教員

総合的な学習の時間「福祉」の時間に訪問していた地域の老人ホームの閉所により、活動場所や活動内容の再検討したい。

両者の思いや願いが合致し、第1回の講座が平成28(2016)年12月に5年生を対象に始まりました。回を重ねるたびに、内容や学年等をアップデートしていきました。

# 活動内容

\*現在は4～6年生の「総合的な学習の時間・福祉」で実施(4-5年生編)

学年	4年生	5年生
テーマ	認知症キッズサポーターになろう	福祉体験 高齢者とながらう①
活動内容	高齢者の心や体の変化を知る (高齢者疑似体験)	認知症当事者とふれあう
	認知症について正しく理解し 接し方を考える	高齢者の視点を考えて、 校内を案内する



# 活動内容

\*現在は4～6年生の「総合的な学習の時間・福祉」で実施(6年生編)

学年	6年生	
テーマ	福祉体験 高齢者となつなろう②	福祉体験 高齢者となつなろう③
活動内容	認知症当事者と交流し、 お互いを知る	認知症当事者との交流を通して、お互いに個性を尊重しつつ、支え合いながら共生していくことに気づく
	認知症当事者と一緒に 駄菓子屋体験をする	認知症当事者と一緒に 学区内を散歩し、 地域のことを紹介する



# 児童の意識の変化

この活動を通し、子供たちは当事者の方と一緒に活動をすることで「認知症の方」とひとまとめにして捉えるのではなく、「〇〇さん」という人と出会うということに気付いた。

その人その人によって、得意なことや苦手なことがあること、自分と同じところがたくさんあること、自分たちが面白いことを言ったら、笑ってくれてうれしかったことなどを振り返り、人と人との関わる上で大切なことについて考えていった。

### 教員の意識の変化

誰もがみな得意なことがあれば苦手なこともある。自分と同じところもあれば違うところもある。他者と共に生きる社会について、子供たちを見ながら考えさせられた。

### 当事者

Aさん(76): 子供たちはかわいいし、いざという時に頼りになる。子供たちと触れ合えて楽しい。元気になれる。認知症であることを忘れた。

### センター館の職員

子供たちは偏見なく素直に当事者と関わることができる。その感覚を地域住民に広げて、共生のまちづくりにつなげたい。



ご清聴ありがとうございました